

法学部法律学科 カリキュラムマップ

	D P	A-2 現代社会とそこに至る過去を踏まえ、現代社会の実情を把握し、それと関連する法律やその基礎的な概念および理論を適切に認識することができる。	A-3 法学の中核をなす基礎的な概念および理論を理解し、現代社会における具体的な実情に向き合うことができる	B-2 法学のより高度な概念および理論を現代社会の実情に適用・応用する過程およびその結果を明確に提示することができる。	B-3 法学の概念および理論を幅広く学び、それらを現代社会の実情に適用・応用するため、複数の視点から比較検討することができる。	C-2 変容する国内外や現代社会の諸現象に関する課題を理解し、自らその解決にむけて法学の概念および理論のみにとらわれない広い視野と批判的見地から検討をすることができる。	C-3 変容する国内外や現代社会の諸現象の課題を解決するため、あるべき社会を展望して新たな秩序を形成することへ、法学のみにとらわれない広い視野から能動的に参与することができる。	D-2 人権意識・道徳意識と倫理観を備え、公平・公正な観点から社会における多様性を受容し、現代社会の諸現象に敏感に反応するための成熟した資質を身に着け、行動することができる。	D-3 地域社会や国際社会を基礎づける多種多様な価値観に基づき、独立した個人として、自ら進んで学ぶ高い意欲を身に着け、適切にかつ積極的に市民社会を担うことができる。	合計 (%)
	C P	法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識する導入科目を1年次に配当し、それを前提として法学の中核となる専門的知識を理解するための基本科目を1～2年次に配置する。	法学の高度な知識を修得し、それを用いた法的思考・法的解釈を提示するための基本科目および専門演習（演習・実務関連科目）を2年次以降に配置し、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較するための国際関係法・政治学科目を2年次から配置する。			法学の概念・理論を前提として、2～4年に国内の先端的な法的問題を理解・解決する力を身につける発展科目および専門演習（演習・実務関連科目）を配置し、この問題の理解・解決を諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行うための国際関係法・政治学科目を2年次以降に配置する。		法学の概念および理論の社会における運用（実務など）を知るための応用法律学および実務科目（演習・実務関連科目）を配置し、さらに、実務という社会現象に多様性を理解したうえで応じる成熟した資質と国際的な障壁をいわずに他者と積極的に関わる力を身につけるための外国語に関する科目を配置する。		
ナンバリング	専攻									
LAW-int1-101	法律学習の基礎	70%	30%							100%
LAW-int1-102	法学概論	60%	40%							100%
LAW-int1-103	基礎演習	70%	30%							100%
LAW-bas1-104	憲法Ⅰ(総論・統治機構)(日本国憲法2単位を含む。)	60%	40%							100%
LAW-bas2-201	憲法Ⅱ(基本的人権)(日本国憲法2単位を含む。)	60%	40%							100%
LAW-bas2-202	行政法総論			60%	40%					100%
LAW-bas3-301	行政救済法			40%	60%					100%
LAW-bas2-203	刑法Ⅰ(総論)	60%	40%							100%
LAW-bas2-204	刑法Ⅱ(各論)	60%	40%							100%
LAW-bas3-302	刑事手続法(刑事訴訟法)	30%	70%							100%
LAW-bas3-303	刑事政策			60%	40%					100%
LAW-bas1-105	民法(総則)	70%	30%							100%
LAW-bas2-205	民法(物権)	70%	30%							100%
LAW-bas2-206	民法(債権総論)	70%	30%							100%
LAW-bas2-207	民法(契約法)	70%	30%							100%
LAW-bas2-208	民法(親族・相続)	70%	30%							100%
LAW-bas2-209	民法(不法行為等)	70%	30%							100%
LAW-bas2-210	会社法Ⅰ(企業組織法)	60%	40%							100%
LAW-bas2-211	会社法Ⅱ(企業金融法)	60%	40%							100%
LAW-bas2-212	民事手続法Ⅰ(判決手続)	30%	70%							100%
LAW-bas3-304	法哲学Ⅰ			30%	70%					100%
LAW-bas3-305	法哲学Ⅱ			70%	30%					100%
LAW-bas3-306	法制史Ⅰ			30%	70%					100%
LAW-bas3-307	法制史Ⅱ			30%	70%					100%
LAW-bas3-308	法社会学Ⅰ			60%	40%					100%
LAW-bas3-309	法社会学Ⅱ			40%	60%					100%
LAW-bas2-213	政治学原論Ⅰ	60%	40%							100%
LAW-bas2-214	政治学原論Ⅱ	40%	60%							100%
LAW-bas3-310	行政学			60%	40%					100%
LAW-bas3-311	地方自治論			60%	40%					100%
LAW-bas1-215	国際法	60%	40%							100%
LAW-exp2-216	雇用関係法Ⅰ			70%	30%					100%
LAW-exp2-217	雇用関係法Ⅱ			70%	30%					100%
LAW-exp3-312	労使関係法			70%	30%					100%
LAW-exp2-218	経済法					40%	60%			100%
LAW-exp2-219	企業取引法Ⅰ(商法総則)			60%	40%					100%
LAW-exp2-220	企業取引法Ⅱ(商取引法)			60%	40%					100%
LAW-exp3-313	企業取引法Ⅲ(保険法・海商法)			60%	40%					100%
LAW-exp3-314	金融法Ⅰ(企業決済法)			60%	40%					100%

法学部法律学科 カリキュラムマップ

	D P	A-2 現代社会とそこに至る過去を踏まえ、現代社会の実情を把握し、それと関連する法律やその基礎的な概念および理論を適切に認識することができる。	A-3 法学の中核をなす基礎的な概念および理論を理解し、現代社会における具体的な実情に向き合うことができる	B-2 法学のより高度な概念および理論を、現代社会の実情に適用・応用する過程およびその結果を明確に提示することができる。	B-3 法学の概念および理論を幅広く学び、それらを現代社会の実情に適用・応用するため、複数の視点から比較検討することができる。	C-2 変容する国内外や現代社会の諸現象に関する課題を理解し、自らその解決にむけて法学の概念および理論のみにとらわれない広い視野と批判的見地から検討をすることができる。	C-3 変容する国内外や現代社会の諸現象の課題を解決するため、あるべき社会を展望して新たな秩序を形成することへ、法学のみにとらわれない広い視野から能動的に参与することができる。	D-2 人権意識・道法意識と倫理観を備え、公平・公正な観点から社会における多様性を受容し、現代社会の諸現象に敏感に反応するための成熟した資質を身に着け、行動することができる。	D-3 地域社会や国際社会を基礎づける多種多様な価値観に基づき、独立した個人として、自ら進んで学ぶ高い意欲を身に着け、適切にかつ積極的に市民社会を担うことができる。	合計 (%)
	C P	法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識する導入科目を1年次に配当し、それを前提として法学の中核となる専門的知識を理解するための基本科目を1～2年次に配置する。	法学の高度な知識を修得し、それを用いた法的思考・法的解釈を提示するための基本科目および専門演習（演習・実務関連科目）を2年次以降に配置し、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較するための国際関係法・政治学科目を2年次から配置する。	法学の概念・理論を前提として、2～4年に国内の先端的な法的問題を理解・解決する力を身につける発展科目および専門演習（演習・実務関連科目）を配置し、この問題の理解・解決を諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行うための国際関係法・政治学科目を2年次以降に配置する。						
ナンバリング	専攻									
LAW-exp3-315	金融法Ⅱ（金融商品取引法）			60%	40%					100%
LAW-exp2-221	民事手続法Ⅱ（民事執行・保全法）			60%	40%					100%
LAW-exp3-316	民事手続法Ⅲ（倒産処理法）					70%	30%			100%
LAW-exp2-222	知的財産法（概論）					70%	30%			100%
LAW-exp3-317	知的財産法（応用）					70%	30%			100%
ILA-exp1-106	国際ビジネスの法と交渉			70%	30%					100%
ILA-exp2-318	国際私法Ⅰ（総論・家族法）			70%	30%					100%
ILA-exp3-319	国際私法Ⅱ（財産法）			70%	30%					100%
ILA-exp2-320	国際取引法			60%	40%					100%
ILA-exp3-321	国際民事手続法			60%	40%					100%
LAW-exp3-322	社会保障法			70%	30%					100%
LAW-exp3-323	地方自治と法			40%	60%					100%
LAW-exp3-223	租税法			60%	40%					100%
LAW-exp3-324	租税手続法			40%	60%					100%
LAW-exp3-224	少年法					70%	30%			100%
LAW-exp3-325	特別刑法			60%	40%					100%
ILA-inl2-326	国際人権法			80%	20%					100%
ILA-inl2-327	国際環境法					60%	40%			100%
ILA-inl2-328	海洋法			60%	40%					100%
ILA-inl2-225	外国法政Ⅰ					30%	70%			100%
ILA-inl2-226	外国法政Ⅱ					30%	70%			100%
ILA-inl2-227	外国法政Ⅲ					30%	70%			100%
ILA-inl2-228	外国法政Ⅳ					30%	70%			100%
ILA-inl3-329	国際組織法			40%	60%					100%
ILA-inl3-330	国際経済法					60%	40%			100%
ILA-inl3-331	国際紛争解決法					60%	40%			100%
ILA-inl3-332	宇宙法					60%	40%			100%
LAW-inl3-333	国際知的財産法					70%	30%			100%
ILA-inl3-334	国際商事仲裁			30%	70%					100%
ILA-inl3-335	EU 法					60%	40%			100%
ILA-inl2-229	International Law			40%	60%					100%
ILA-inl3-336	Advanced International Law					60%	40%			100%
ILA-inl2-230	国際関係史					70%	30%			100%
ILA-inl2-231	国際政治学			30%	70%					100%
ILA-inl2-232	政治理論			60%	40%					100%
ILA-inl2-233	政治史Ⅰ			70%	30%					100%
ILA-inl2-234	政治史Ⅱ			70%	30%					100%
ILA-inl2-235	日本政治論			60%	40%					100%
ILA-inl2-236	比較政治学					30%	70%			100%

法学部法律学科 カリキュラムマップ

	D P	A-2 現代社会とそこに至る過去を踏まえ、現代社会の実情を把握し、それと関連する法律やその基礎的な概念および理論を適切に認識することができる。	A-3 法学の中核をなす基礎的な概念および理論を理解し、現代社会における具体的な実情に向き合うことができる。	B-2 法学のより高度な概念および理論を、現代社会の実情に適用・応用する過程およびその結果を明確に提示することができる。	B-3 法学の概念および理論を幅広く学び、それらを現代社会の実情に適用・応用するため、複数の視点から比較検討することができる。	C-2 変容する国内外や現代社会の諸現象に関する課題を理解し、自らその解決をむけて法学の概念および理論のみにとらわれない広い視野と批判的見地から検討をすることができる。	C-3 変容する国内外や現代社会の諸現象の課題を解決するため、あるべき社会を展望して新たな秩序を形成することへ、法学のみにとらわれない広い視野から能動的に参与することができる。	D-2 人権意識・道徳意識と倫理観を備え、公平・公正な観点から社会における多様性を受容し、現代社会の諸現象に敏感に反応するための成熟した資質を身に着け、行動することができる。	D-3 地域社会や国際社会を基礎づける多種多様な価値観に基づき、独立した個人として、自ら進んで学ぶ高い意欲を身に着け、適切にかつ積極的に市民社会を担うことができる。	合計 (%)
	C P	法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識する導入科目を1年次に配当し、それを前提として法学の中核となる専門的知識を理解するための基本科目を1～2年次に配置する。	法学の高度な知識を修得し、それを用いた法的思考・法的解釈を提示するための基本科目および専門演習（演習・実務関連科目）を2年次以降に配置し、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較するための国際関係学・政治学科目を2年次から配置する。	法学の概念・理論を前提として、2～4年に国内の先端的な法的問題を理解・解決する力を身につける発展科目および専門演習（演習・実務関連科目）を配置し、この問題の理解・解決を諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行うための国際関係学・政治学科目を2年次以降に配置する。						
ナンバリング	専攻									
ILA-inl2-237	地域研究Ⅰ			70%	30%					100%
ILA-inl2-238	地域研究Ⅱ					70%	30%			100%
ILA-inl2-239	地域研究Ⅲ					70%	30%			100%
ILA-inl2-240	社会科学総合講座					30%	70%			100%
ILA-inl3-337	現代政治思想					70%	30%			100%
ILA-inl3-338	政治思想史			60%	40%					100%
ILA-inl2-241	国際協力論					70%	30%			100%
ILA-inl2-242	計量政治学					70%	30%			100%
LAW-sem2-243	専門演習Ⅰ					30%	70%			100%
LAW-sem3-339	専門演習Ⅱ					30%	70%			100%
LAW-sem4-401	専門演習Ⅲ					30%	70%			100%
LAW-sem4-402	特別専門演習							30%	70%	100%
ILA-sem1-107	英書講読Ⅰ							60%	40%	100%
ILA-sem1-108	英書講読Ⅱ							70%	30%	100%
ILA-sem2-244	専門外国語Ⅰ A							40%	60%	100%
ILA-sem2-245	専門外国語Ⅰ B							40%	60%	100%
ILA-sem2-246	専門外国語Ⅱ A							40%	60%	100%
ILA-sem2-247	専門外国語Ⅱ B							40%	60%	100%
ILA-sem2-248	専門外国語Ⅲ A							40%	60%	100%
ILA-sem2-249	専門外国語Ⅲ B							40%	60%	100%
LAW-sem2-250	表現技法の基礎							60%	40%	100%
LAW-sem1-109	Problem Solving Skills for Global IssuesⅠ	70%	30%							100%
LAW-sem1-110	Problem Solving Skills for Global IssuesⅡ	30%	70%							100%
LAW-sem2-251	行政実務から見た法学							60%	40%	100%
LAW-sem2-252	ビジネス実務から見た法学							60%	40%	100%
ILA-sem2-340	インターナショナル・サービス・ラーニング							60%	40%	100%
LAW-sem2-403	応用法律学（憲法）							60%	40%	100%
LAW-sem3-404	応用法律学（行政法）							60%	40%	100%
LAW-sem2-405	応用法律学（刑法）							60%	40%	100%
LAW-sem3-406	応用法律学（刑事訴訟法）							60%	40%	100%
LAW-sem2-407	応用法律学（民法）							60%	40%	100%
LAW-sem2-408	応用法律学（商法）							60%	40%	100%
LAW-sem3-409	応用法律学（民事訴訟法）							60%	40%	100%
ECO-opt1-253	マクロ経済学Ⅰ	70%	30%							100%
ECO-opt2-341	マクロ経済学Ⅱ			30%	70%					100%
ECO-opt1-254	ミクロ経済学Ⅰ	70%	30%							100%
ECO-opt2-342	ミクロ経済学Ⅱ			30%	70%					100%
IEC-opt2-343	国際経済学	70%	30%							100%
ECO-opt3-344	西洋経済史	70%	30%							100%

法学部法律学科 カリキュラムマップ

	D P	A-2 現代社会とそこに至る過去を踏まえ、現代社会の実情を把握し、それと関連する法律やその基礎的な概念および理論を適切に認識することができる。	A-3 法学の中核をなす基礎的な概念および理論を理解し、現代社会における具体的な実情に向き合うことができる。	B-2 法学のより高度な概念および理論を、現代社会の実情に適用・応用する過程およびその結果を明確に提示することができる。	B-3 法学の概念および理論を幅広く学び、それらを現代社会の実情に適用・応用するため、複数の視点から比較検討することができる。	C-2 変容する国内外や現代社会の諸現象に関する課題を理解し、自らその解決にむけて法学の概念および理論のみにとらわれない広い視野と批判的見地から検討をすることができる。	C-3 変容する国内外や現代社会の諸現象の課題を解決するため、あるべき社会を展望して新たな秩序を形成することへ、法学のみにとらわれない広い視野から能動的に参与することができる。	D-2 人権意識・道徳意識と倫理観を備え、公平・公正な観点から社会における多様性を受容し、現代社会の諸現象に敏感に反応するための成熟した資質を身に着け、行動することができる。	D-3 地域社会や国際社会を基礎づける多種多様な価値観に基づき、独立した個人として、自ら進んで学ぶ高い意欲を身に着け、適切にかつ積極的に市民社会を担うことができる。	合計 (%)
	C P	法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識する導入科目を1年次に配当し、それを前提として法学の中核となる専門的知識を理解するための基本科目を1～2年次に配置する。	法学の高度な知識を修得し、それを用いた法的思考・法的解釈を提示するための基本科目および専門演習（演習・実務関連科目）を2年次以降に配置し、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較するための国際関係法・政治学科目を2年次から配置する。			法学の概念・理論を前提として、2～4年に国内の先端的な法的問題を理解・解決する力を身につける発展科目および専門演習（演習・実務関連科目）を配置し、この問題の理解・解決を諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行うための国際関係法・政治学科目を2年次以降に配置する。		法学の概念および理論の社会における運用（実務など）を知るための応用法律学および実務科目（演習・実務関連科目）を配置し、さらに、実務という社会現象に多様性を理解したうえで応じる成熟した資質と国際的な障壁をいわずに他者と積極的に関わる力を身につけるための外国語に関する科目を配置する。		
ナンバリング	専攻									
ECO-opt3-345	日本経済史	70%	30%							100%
ECO-opt3-346	日本経済論	70%	30%							100%
IEC-opt2-347	世界経済論	70%	30%							100%
ECO-opt3-348	財政学			30%	70%					100%
IEC-opt3-349	国際金融論			30%	70%					100%
COM-opt2-255	保険史		80%	20%						100%
TEA-opt2-256	日本史 A	60%	40%							100%
TEA-opt2-257	日本史 B	60%	40%							100%
TEA-opt2-258	外国史 A	60%	40%							100%
TEA-opt2-259	外国史 B	60%	40%							100%
INC-opt2-260	ヨーロッパ史 A	70%						15%	15%	100%
INC-opt2-261	ヨーロッパ史 B	70%						15%	15%	100%
INC-opt2-262	日本文化史 A		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-263	日本文化史 B		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-264	中国・アジア文化史 A		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-265	中国・アジア文化史 B		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-266	ヨーロッパ・地中海文化史 A		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-267	ヨーロッパ・地中海文化史 B		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-268	アメリカ・太平洋文化史 A		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-269	アメリカ・太平洋文化史 B		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-270	表象文化史 A		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-271	表象文化史 B		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-272	芸術文化史 A		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-273	芸術文化史 B		70%					15%	15%	100%
INC-opt2-274	現代哲学思想 A	70%						15%	15%	100%
INC-opt2-275	現代哲学思想 B	70%						15%	15%	100%
INC-opt2-276	宗教学 A	70%						15%	15%	100%
INC-opt2-277	宗教学 B	70%						15%	15%	100%
TEA-opt2-278	人文地理学 A	70%						15%	15%	100%
TEA-opt2-279	人文地理学 B	70%						15%	15%	100%
TEA-opt2-280	自然地理学 A	70%						15%	15%	100%
TEA-opt2-281	自然地理学 B	70%						15%	15%	100%
TEA-opt2-282	地誌学 A	70%						15%	15%	100%
TEA-opt2-283	地誌学 B	70%						15%	15%	100%
	最高値	70%	80%	80%	70%	70%	70%	70%	70%	
	合計	2870%	2190%	2520%	2100%	1440%	1260%	1420%	1300%	15100%
	比重 (%)	19.01	14.50	16.69	13.91	9.54	8.34	9.40	8.61	100.00